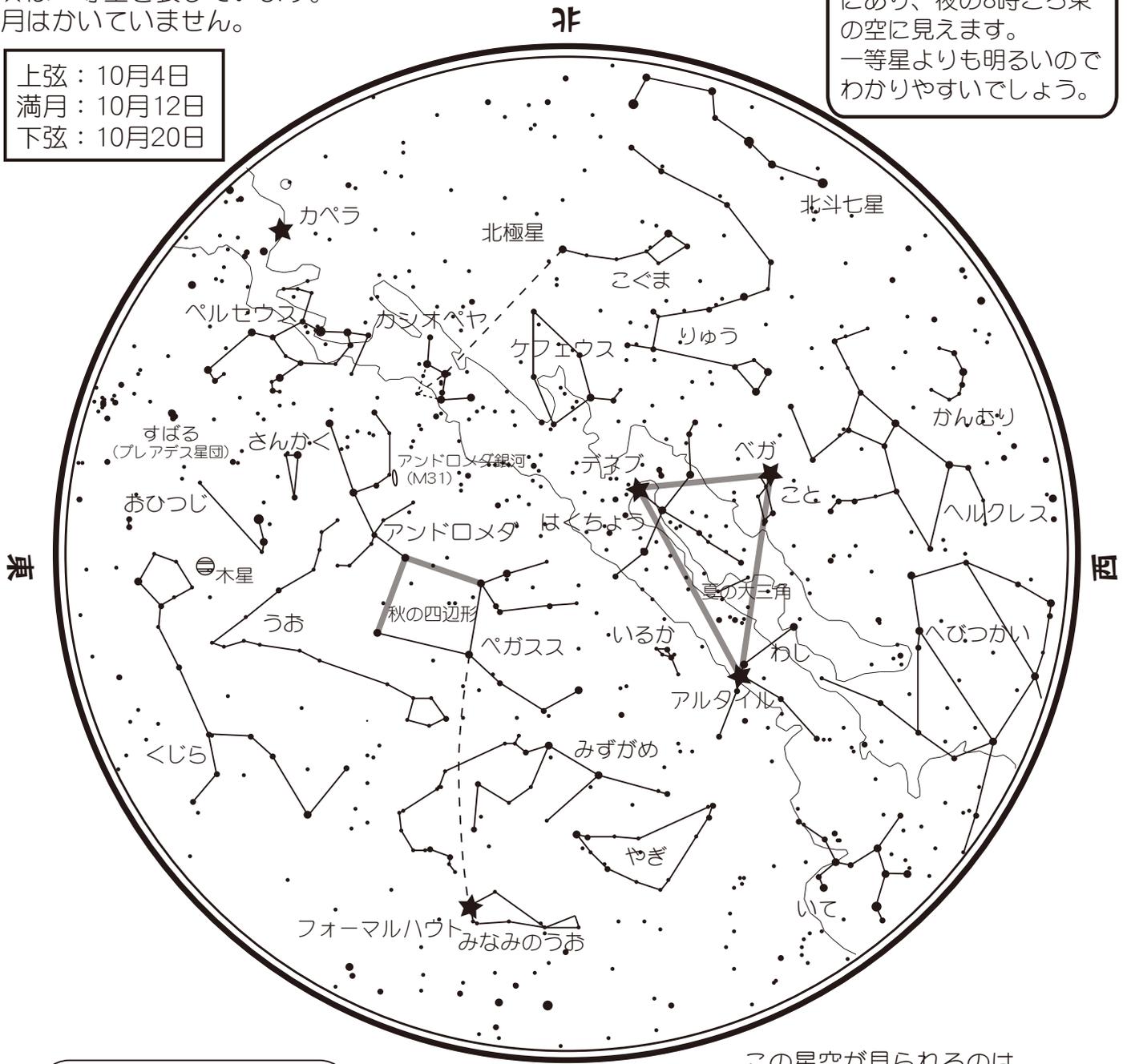


# ★ 姫路で見る10月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にしてください。  
★は一等星を表しています。  
月はかいていません。

☆木星を見よう☆  
今年はおひつじ座の近くにあり、夜の8時ごろ東の空に見えます。  
一等星よりも明るいのでわかりやすいでしょう。

上弦：10月4日  
満月：10月12日  
下弦：10月20日



**2011 AUTUMN**

この星空が見られるのは  
2011年10月5日午後9時頃  
10月20日午後8時頃です。

秋になると、星空では秋の四辺形を見つけやすくなります。この四辺形はペガサス座の胴体に当たる部分で、四辺形の西の辺を南にのぼしていくと、秋の星空でたったひとつの一等星、フォーマルハウトが見つかります。南から東の空にかけては、逆三角の形をしたやぎ座や三ツ矢のマークが目じるしのみずがめ座、Vの形をしたうお座など誕生日の星座が並びます。

ペガサス座のおへそにあたる星から北東の空へと星を結びと、アンドロメダ座が見つかります。そばに見えるアンドロメダ銀河は、私たちの住む銀河系の外にある銀河で、約230万光年離れた所にあります。そこから北の空に目を向けると、Wの形が目じるしのカシオペア座と、とがった五角形のケフェウス座が見えます。カシオペア座からは北の方角が目じるし、北極星を見つけることができます。

南から西にかけては夏の星座が見えます。こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブを結びと夏の夏の大三角ができあがります。

晴れた日は、街あかりの少ない場所にお出かけして、夏から秋へと星座巡りを楽しんでみましょう。